

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●津村明秀騎手がJRA通算500勝を達成

2月6日(土)の1回東京3日・第6レースではカイザーバローズが1着となり、同馬に騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)は、史上102人目、現役では39人目となるJRA通算500勝(9308戦目)を達成しました。

### ●藤田菜七子騎手が国際騎手招待競走に出場

2月19日(金)、サウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場で行われる「インターナショナルジョッキーズチャレンジ」に藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)が出場することとなりました。本シリーズは4競走で行われ、男女計14名の騎手が獲得ポイントを競います。

### ●IFHAが世界のトップ100G I レースを発表

『2020年世界のトップ100G I 競走』がIFHA(国際競馬統括機関連盟)から発表され、第1位のインターナショナルS(年間レースレーティングは125.25)を筆頭に11か国40競馬場のG I 競走がリストに名を連ねました。日本のレースでは、第3位にジャパンカップ(124.50)が入り、これは現行の形式でランキングが発表されるようになった2015年以降、日本の競走としては最高位。また5つある距離区分のうち、マイルでは安田記念、ロングではジャパンカップ、エクステンディッドでは天皇賞(春)が最上位となるなど、日本から計14競走がランクインし、これはオーストラリアの25競走、イギリスの18競走に続き世界第3位のレース数となっています。

### ●サートゥルナーリアの競走馬登録抹消

2019年皇月賞(G I)などの勝ち馬サートゥルナーリア(牡5歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算10戦6勝)、2017年鳴尾記念(G III)の勝ち馬ステインシアトル(牡10歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算16戦5勝)、2017年北海道2歳優駿(門別・Jpn III)の勝ち馬ドンフォルティス(牡6歳/栗東・牧浦充徳厩舎/JRA通算13戦3勝・地方4戦1勝)は、1月21日(木)までに競走馬登録を抹消されました。サートゥルナーリアは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬、ステインシアトルは滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となり、ドンフォルティスは地方・川崎競馬に移籍する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●クリンチャーが佐賀記念(佐賀)を9馬身差でレコード勝ち

佐賀記念(Jpn III、2月11日、佐賀、2000m)は、先手を取ったクリンチャー(川田将雅騎手、牡7歳、父ディープスカイ)が3番人気のアシャカトブを9馬身引き離して圧勝、単勝1.7倍の支持に応えました。ハナズレジェンドが3着に入り、2番人気のロードゴラッソが4着、ウインユニファイドが5着と、5頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

### ●フェブラリーSに船橋のミューチャリーら2頭の地方馬が登録

フェブラリーS(G I、2月21日、東京)に、ミューチャリー(船橋)、ワークアンドラブ(大井)の2頭の地方在籍馬が登録しました。2頭中では実績上位のミューチャリーですが、昨年の11着を上回れるかどうかが焦点となります。なお、ワークアンドラブは出走馬決定順17位(フルゲートは16頭)です。

### ●梅桜賞(名古屋)はティーズダンキー【各地の主要3歳重賞】

梅桜賞(1月26日、名古屋、1800m、牝馬)は、逃げた4番人気の北海道から愛知への移籍馬ティーズダンキー(父リアルインパクト)が後続をクビ差振り切り、重賞初挑戦で初制覇を果たしています。  
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1 C. F. オーアS～ストリーツオブアヴァロンが制す

2月6日にオーストラリアのコーヒーワールド競馬場で行われたC. F. オーアS(3歳上、芝1400m)は、2番手追走から早めに先頭に立ったストリーツオブアヴァロン(駆6歳、父マグナス、S. ニコルズ厩舎)がG1ジョージメインSの3着馬イメージングの追い上げを半馬身差離けて優勝しました。勝ったストリーツオブアヴァロンは今年1月のG2オーストラリアS(芝1200m)に続く重賞連勝で、G1は昨年2月の豪フューチュリティS(芝1400m)以来となる2勝目です。なお、24歳の鞍上Z. スペイン騎手はこれがG1初制覇となりました。

### ●G3 UAE2000ギニー～ムーヒーブが3戦目で重賞制覇

G3 UAE2000ギニー(3歳、ダート1600m)が2月4日にUAEのメイダン競馬場で行われ、日本の地方競馬でも騎乗経験があるR. クアトロ騎手を背に3番手を追走したムーヒーブ(牡、父フラッター、N. バシャラール厩舎)が逃げたメシャケルをクビ差交わして優勝しました。ムーヒーブは昨年12月にダート1200m戦でデビュー勝ち。続く1月のUAE2000ギニートライアル2着を経てここに臨んでいました。